

## ビジネス視点の防災とは

浜松湖北高 専門家と具体策学ぶ

ＬＰガス販売「エネジン」（浜松市中央区）は８日、自然災害などの緊急事態に備える事業継続計画（ＢＣＰ）などを学ぶ防災講座を浜松湖北高（浜名区）で行った。同校商業科３年生４２人が、ビジネスの視点から防災事業を考えた。

同社の防災士杉本真一さん（４８）らが講師を務めた。ＢＣ

Ｐの目的を、命を守ることをゴールとする防災計画と比較し、人命や財産の保護と同時に事業の継続や速やかな再開を図るものと説明。自然災害のリスクが高まる中、具体的な行動計画の有無で復旧までのスピードが異なることを示した。

生徒は来年１月まで防災事業者を招いた学習を進め、商



業的観点から災害に強いまちづくりに理解を深める。今回が学習の初回となり、杉本さんの解説を交えて津波実験や２０１１年の東日本大震災の映像を見て、自然災害から命を守るすべも学んだ。

ＢＣＰの目的や自然災害から命を守るすべを生徒に教える杉本さん（右）  
〓 浜松市浜名区の浜松湖北高

２０２６年（令和８年）７月１０日（金）静岡新聞